

# 千科大×ガラスリソーシング(株)

## 「グローバル 食料増産プロジェクト」発進!

### 世界的食料危機を銚子から救う!!

#### 「スピード感もつて1年目安に」と伊藤会長

#### 昆虫をタンパク源に水産飼料や家畜のエサに

「千葉科学大学とガラスリソーシング(株)は、グローバル食料増産プロジェクトの共同研究の契機を感じ、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」

### 「世界的食料危機を救う、グローバル食料増産プロジェクト」

ガラスリソーシング株式会社・千葉科学大学 共同研究契約 調印式

千葉科学大学とガラスリソーシング(株)が「世界的食料危機を救う、グローバル食料増産プロジェクト」の共同研究契約に調印。左はガラスリソーシング(株)の伊藤憲一会長、右は千葉科学大学の木曾功学長。



伊藤憲一(左)と木曾功(右)が調印式で共同研究契約を調印した。伊藤は「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

20日(木)、千葉科学大学本部キャンパスで、ガラスリソーシング(株)と千葉科学大学が共同研究の契機を感じ、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。伊藤憲一(左)と木曾功(右)が調印式で共同研究契約を調印した。伊藤は「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

### 水産養殖用・畜産用のエサ 「危機感覚える」と伊藤憲一会長

#### 日本の国策として飼料を開発せねば!

伊藤憲一(左)と木曾功(右)が調印式で共同研究契約を調印した。伊藤は「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

「今回のプロジェクトは、世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

### 昆虫食はウマ

#### 「ガラスリソーシング(株)と共同研究ありがたい」と木曾功学長

木曾功学長は、「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

### 「昆虫食はウマ」

#### 「ガラスリソーシング(株)と共同研究ありがたい」と木曾功学長

木曾功学長は、「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

### 「昆虫食はウマ」

#### 「ガラスリソーシング(株)と共同研究ありがたい」と木曾功学長

木曾功学長は、「世界的食料危機を救うべく、スピード感もつて研究を進め、世界的食料危機を救うべく、調印しました。」と語り、プロジェクトの意義を述べた。

今後の課題を解決するためにも、国内での開発が求められる。千葉科学大学とガラスリソーシング(株)の間で、以下を研究テーマとする共同開発が開始される。

- ① 昆虫食の飼料としての開発
- ② 昆虫食の飼料としての開発
- ③ 昆虫食の飼料としての開発
- ④ 昆虫食の飼料としての開発
- ⑤ 昆虫食の飼料としての開発